



V3

ユーザーズガイド

support.shotscope.com

Shot Scope



目次

付属品	01
ショットスコープ V3の設定方法	02
ショットスコープアプリとダッシュボード ご使用になる前に	07 08
コースでの使用	11
ラウンド終了後	18
編集/承認	19
リーダーボード/メダル	21
ショットスコープ V3を最大限に活用するために	22
ご利用規約	23

Shot Scope

付属品

このたびは、ショットスコープ G3をお買い上げいただきありがとうございます。本機の電源を入れる前に、ユーザーズガイドをよくお読みになり、正しい設定を行ってください。

- 1 x ショットスコープ V3
- 16 x 追跡センサー
- 1 x 充電用ケーブル



ショットスコープV3の 設定方法

ステップ1: アプリのダウンロードとインストール

ショットスコープは、AndroidとiOS両方のアプリを提供しており、これらは互換性のある携帯電話やタブレットにダウンロードできます。

ショットスコープアプリをダウンロードまたはインストールするには、App StoreまたはGoogle Play StoreのいずれかでShot Scopeを検索してください。

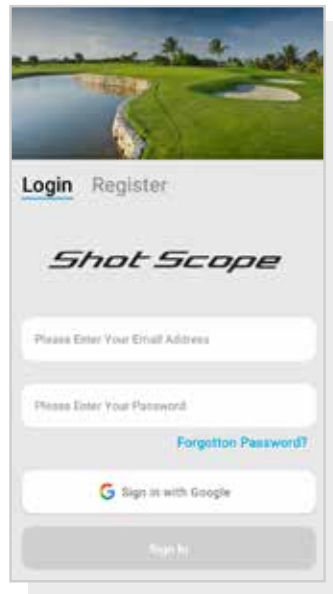
ショットスコープV3は、デスクトップパソコン用アプリには対応していませんので、ラウンドのアップロード、コースやファームウェアのアップデートには、新しくなった



モバイルアプリをご利用ください。

登録

アカウントを登録するには、アプリを開き、「登録」ボタンをクリックします。すべての項目を入力して、「次へ」のボタンを押してください。パスワードは6文字以上、少なくとも1つの数字を含む必要があります。



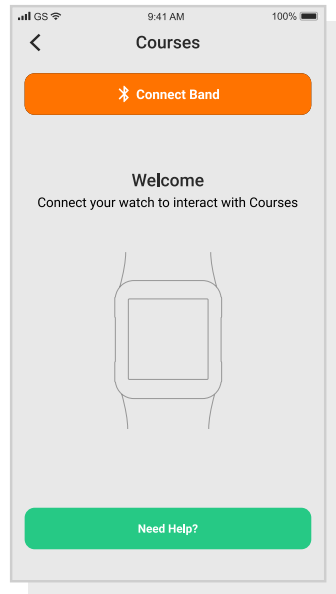
アプリ登録画面

ステップ2: アプリの設定を完了する

登録後、初めてショットスコープアプリに入ると、ウォッチとアプリの使い方の説明が表示されます。ここでは、ウォッチの設定を選択し、ウォッチを同期して最新のファームウェアがインストールされていることを確認します。ウォッチを使用する前に、このプロセスを完了する必要があります。

ステップ3: ショットスコープへの接続

ステップ2の設定を終えたばかりの方は、ウォッチを再度接続する必要はありません。ウォッチとアプリを接続する必要がある場合は、携帯電話の設定でBluetoothをオンにし、アプリにログインしてから画面上部の「接続」ボタンを押してください。ウォッチの画面が変わり、接続が成功したことが表示されます。



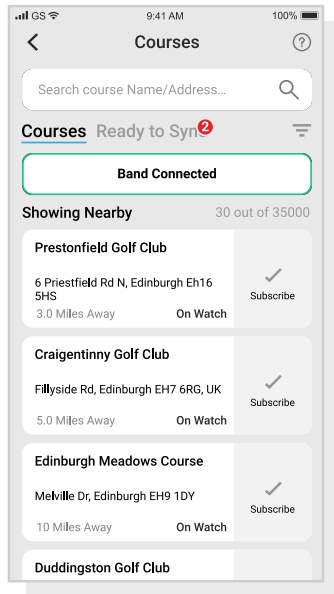
アプリとウォッチの接続画面

ステップ4: コースマップの確認

ティーオフの時間の48時間前には、プレーする予定のコースマップの状態を確認することをお勧めします。これは、そのコースがシステムに登録されており、マップが作成されていることを確認するためです。

ほとんどのコースはウォッチに登録されていますが、たまにシステムに登録されていない新しいコースがあったり、コースが更新待ちになっていることもあります。

ショットスコープシステムにマッピングされたコースのリストを表示するには、アプリ内の「コース」セクションに移動します。iOSアプリではタブバー、Androidアプリではメインメニューに表示されています。



コースマップを見る

ステップ5: コースの検索、登録、追加

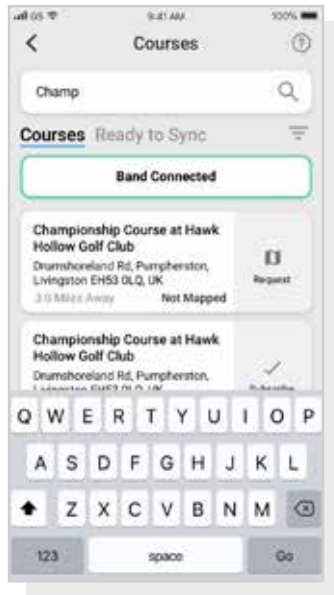
コースのデータベースを検索するには、コース名を入力するか、位置情報を使って近隣のコースを検索します。検索バーを使用するか、画面右上のフィルターを使用して、現在地に近いコースを絞り込むことができます。

また、よくプレーするコースを登録しておく、コースマップが更新されたときに通知を受け取ることができ、常に最新のコースマップを確認することができます。登録するには、コースをタップすると、そのコースが青くハイライトされ、このアクションが確認されます。選択したコースが更新された場合は、自動的に同期リストに追加されます。

コースが登録されていても、まだウォッチに登録されていない場合は、コースの横に「追加」ボタンが表示されますので、これをタップすると、コースが自動的に同期リストに追加されます。

あなたのコースがデータベースに登録されていても、まだマップが作成されていない場合があります。このような場合、コースの横に「リクエスト」ボタンが表示されますので、これをタップしてコースのマップ作成をリクエストしてください。これにより、マップ作成チームに通知され、48時間以内にコースが作成・登録されるように努力します。

コース名が見つからない場合は、画面下にある「リクエスト」ボタンを押してください。リクエストフォームが表示されますので、コース名を記入して当社のマップ作成チームに送信してください。繰り返しになりますが、48時間以内のマッピングを目指しています。

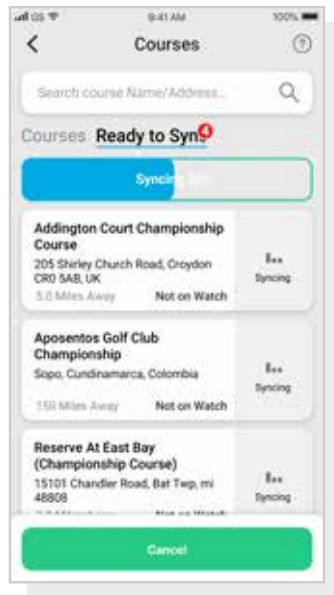


コースマップ選択画面

ステップ6: 同期

ウォッチにアップロードする必要のあるコースマップや、ウォッチに転送する必要のある最新情報がある場合は、コース画面の上部に赤い通知が表示されます。同期を行いたい場合は、画面上部の「同期準備完了」ボタンをタップしてください。

表示された画面には、同期が必要なコースのリストが表示されます。画面上部の「すべてを同期」ボタンを押すと、同期処理が開始されます。



コースマップ同期画面

ショットスコープアプリと ダッシュボード

モバイルアプリのダウンロードまたはアップデート

iOSおよびAndroid向けに、新しく更新されたモバイルアプリが用意されています。最新のバージョンがインストールされていることをご確認ください。

V3のデスクトップパソコン用アプリはありません

ショットスコープV3は、デスクトップパソコン用アプリには対応していませんので、ラウンドのアップロード、コースやファームウェアのアップデートには、新しくなったモバイルアプリをご利用ください。

ラウンドをアップロードするには、モバイルアプリを使用する必要があります。なお、コンピュータやタブレットのウェブブラウザからアクセスできるパフォーマンスダッシュボード(右図)では、自分のラウンドを表示・編集することができます。これはデスクトップパソコン用アプリとは異なります。



ショットスコープ モバイルアプリ

統計データを一目で確認できます。ショットスコープの設定、ファームウェアの更新、コースの更新、ラウンドのアップロードなどが可能です。



ショットスコープ・ダッシュボード

統計データをより詳細に分析することができます。
オンラインでご覧いただけます：

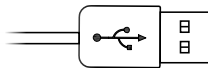
<https://dashboard.shotscope.com>

ご使用になる前に

ステップ1: ショットスコープ G3の充電

ショットスコープは、USBポートやUSB対応の壁掛け充電器で充電できます。充電器は製品に付属のものをお使いください。

Shot Scopeのロゴが上を向くように充電器を持ち、レバーを入れて、4つの突起をウォッチの裏に慎重に差し込みます。装着に成功すると、ウォッチの画面が充電中の画面に変わります。



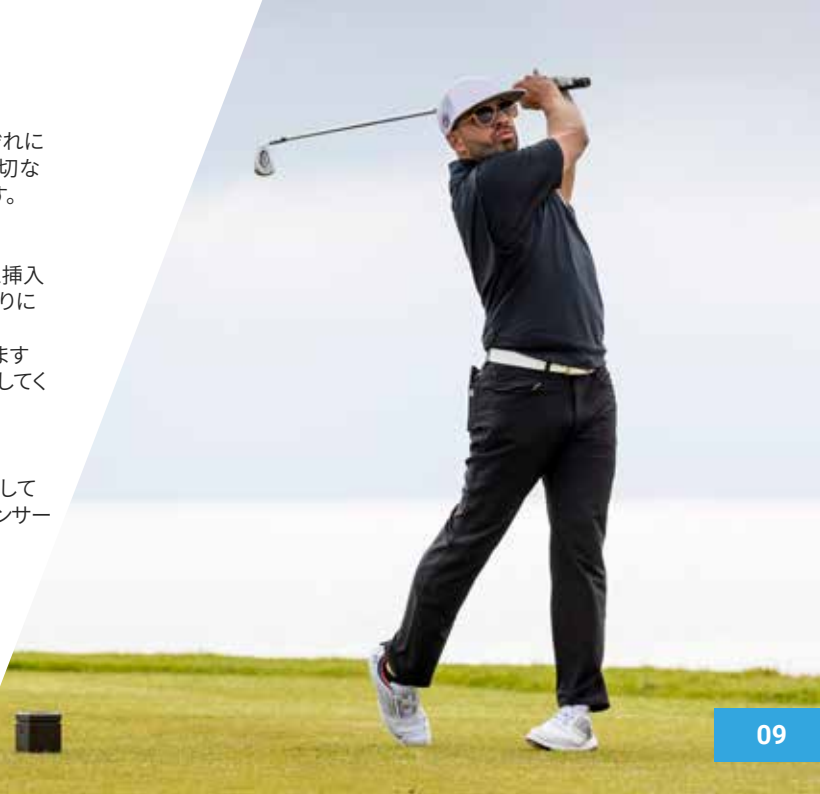
画面の左側に充電器を差し込みし、USBを電源に接続します。

ステップ2: センサーの取り付け

ショットスコープには16個のセンサーが付属しており、それぞれにクラブを識別するためのイニシャルが表示されています。適切なセンサーを、対応するクラブに合わせるのが最善の方法です。例えば、「D」センサーはドライバーに取り付けます。

センサーは、トラッキングしたいクラブのグリップにしっかりと挿入しなければなりません。そのためには、センサーをウォッチ回りに回転させながら、わずかに下向きの力を加えてください。「X1」と「X2」と書かれた予備のセンサーが2個付属されていますが、これは7番ウッドや追加のドライバーなどのクラブに使用してください。

パターで使用できるのは「P」センサーのみです。
既存のショット・スコープ・ユーザー：すでにセンサーを所有している場合は、古いV1/V2のセンサーを新しく改良されたV3のセンサーに更新してください。



ステップ3: マイバッグの設定

「マイバッグ」機能は、アプリの「その他/設定」セクション内の「アカウント」タブにあります。
ショットスコープアプリに加えて、オンラインのウェブダッシュボード <https://dashboard.shotscope.com> も用意しています。

このWebページには、より詳細な統計情報が掲載されており、「マイバッグ」と同様の管理機能を備えています。このダッシュボードには、モバイルアプリと同じEメールとパスワードを使ってログインできます。マイバッグ機能は、ダッシュボードの右上にある「アカウント」タブにあります。

センサーをそれぞれのクラブにねじ込んだら、モバイルアプリまたはオンラインダッシュボードのマイバッグ機能に入り、クラブのセットを作成します。センサーのセットアップと一致するように、センサーのスロットにこれらのクラブを割り当ててください。
マイバッグ機能の詳細については、サポートサイト support.shotscope.com をご覧ください。



マイバッグ ダッシュボード画面

コースでの使用

ステップ1: ウォッチの装着方法

ショットスコープは、ショットを自動検出するために、ウォッチとセンサーの両方を使用します。この2つは、ショット時には常に10cm以内の距離にある必要があります。クラブを握りしめたり、ウォッチを手首の高い位置に装着したりすると、範囲が広すぎてウォッチが機能せず、ショットが記録されないことがあります。ストラップがセンサーを検知しやすくするために、ストラップをセンサーに近づけるとパフォーマンスが向上します。

また、イオンバンドや金属製のものなどを手首に装着しないでください。これはショットスコープの性能に影響を与える可能性があります。

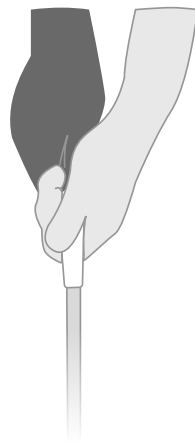
右利きのゴルファー？

左手にショットスコープを装着してください。



左利きのゴルファー？

右手にショットスコープを装着してください。



ステップ2: プレイの準備

ラウンドを開始するには、まず、左上のボタンを押してウォッチの電源を入れ、左下のボタンを押してロックを解除します。ロックが解除されたら、右上の「✓」の横にあるボタンを押します。これで「プレイ」が選択されたこととなります。

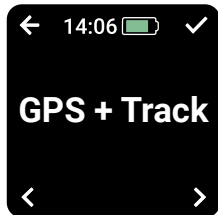
1番ティーグラウンドに到着する直前にラウンドを開始されることをお勧めします。これは、ウォーミングアップ中のスイングやパットのデータがウォッチに記録されないようにするためです。



ステップ3: モードの選択

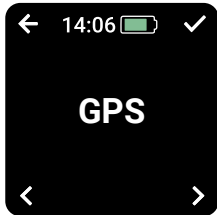
ゲームモードは変更可能で、V3を最大限に活用することができます。新しいラウンドの開始を選択すると、そのラウンドをどのモードでプレイしたいかを確認する画面が表示されます。選択できるのは、以下の通りです。GPSのみ、プロモード、GPS+トラック

ゲームモードを選択すると、ウォッチはGPSを検索します。約30秒かかりますが、初めてプレイする時はもう少し時間がかかるかもしれません。ウォッチには、利用可能なコースのリストが表示されますので、左下と右下のボタンで適切なコースを探し、右上のボタンで選択を確定してください。



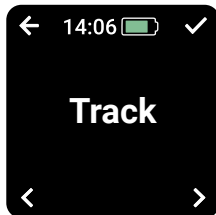
GPS + 追跡:

他の2つのモードを組み合わせ、GPSによる距離測定とショットの追跡データを収集し、ラウンド後のゲームを分析します。



GPSのみ:

ラウンド中にフロント/センター/バックエッジまでの距離や、ハザードまでの距離を画面に表示します。このモードでは、ショットの追跡データは収集されません。



追跡のみ:

ゲームを振り返って分析するためのショット追跡データを自動的に収集します。このモードでは、コース上の情報は得られず、プレー中にGPSの距離がウォッチに表示されません。

ステップ4: プレイ中

ボタンロック

ボタンロック機能は、ボタンをロックして誤って押してしまうのを防ぐ機能です。

15秒間操作しないとボタンはロックされます。ロックを解除するには、左下のボタンをタップします。

プレイ中にハザードを表示するには、画面のロックを解除すると、右上にハザードのアイコンが表示されます。

ロック画面の機能は、設定メニューで無効にすることができます。



ボタンロック時の画面

センサーID

センサーIDは、ラウンド中にゴルファーに視覚的なフィードバックを与え、ウォッチが最後に検出したクラブのセンサーを画面に表示します。これにより、ゴルファーは自分のショットが検出されたことを確認できます。センサーID機能を使用したくない場合は、設定でオフにすることができます。



ステップ4: プレイ中(続き)

ピンコレクト

ピンコレクトは、ピンの位置を収集することで、統計情報を最大限に活用することができます。グリーンに到達すると、ウォッチは自動的にピンコレクト画面に切り替わります。この画面には、そのホールでのパット数を表す1~3の数字が表示されます。

次の画面では、0または4のパットを記録することができます。ホールアウトした後、ホールの上に乗ってパット数に対応する数字の横にあるボタンを押してください。これで、そのホールのピン位置が保存されます。

ピンコレクトを忘れてしまったら？

すべてのグリーンで、ウォッチがピンの位置を知らせてくれますが、忘れてしまうことはよくあります。もし忘れてしまった場合は、編集でピンの位置を追加し、必要に応じてパットを移動することができます。編集機能については後ほど詳しくご紹介します。



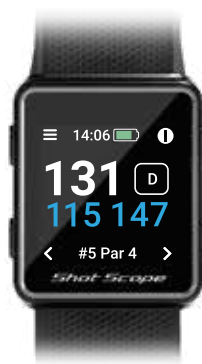
コース上でペナルティを記録するには？

左上のメニューボタンを押して、ペナルティ画面に移動してください。最初の選択肢は「ペナルティ」で、右上のボタンを押して選択を確定します。その後、さまざまなペナルティのオプションを探して、自分に関連するものを選択することができます。ペナルティの使い方については、サポートサイトで詳しく説明しています。

support.shotscope.com

ホール間の切り替え

ホールを終了すると、ウォッチは自動的に次のホールに切り替わります。もし、手動でホールを変更したい場合は、右下のボタンを押すと進み、左下のボタンを押すと戻ります。



ステップ4: プレイ中(続き)

ハザードの表示方法

ホールのハザードを表示するには、右上の「!」アイコンの横にあるボタンをクリックします。この画面では、そのホールにあるバンカーやウォーターハザードの距離を確認することができます。画面には最初の2つのハザードが表示されますが、右上と右下のボタンを押すことで、そのホールにあるすべてのハザードをスクロールすることができます。この手順の後、距離画面に戻るには、戻る矢印の横にある左上のボタンを押してください。



ハザードアイコン(右上)



ハザード表示画面

ラストショット

GPS+追跡モードではラストショットの距離を自動的に測定し、GPSモードではマニュアルでラストショットを測定します。



GPS+追跡モードでラストショットを表示する方法

画面のロックを解除して、メニューボタン(左上)を押します。ボールに向かって歩いていると、画面に表示されている数字が増えていきます。次のショットを打つと、自動的にリセットされます。

ステップ4: プレイ中(続き)



GPSモードでラストショットを表示する方法

画面のロックを解除し、メニューボタン(左上)を押してから、スタート(右上)を押します。ボールに向かって歩いていくと、画面に表示される数字が増えていきます。お好みで、ショットするたびにこの操作を繰り返してください。

ラウンドの終了

18番ホールをプレーした後、自動的にラウンドを終了するかどうか尋ねられます。右上のボタンを押して、ラウンドを終了することを確認してください。ラウンドを終了しない場合は、右下のボタンを「続行」が表示されるまで押し、右上のボタンを押して確認してください。左上のメニューボタンを押して、「ラウンドを終了」が表示されるまでオプションをスクロールすることで、いつでも手動でラウンドを終了することができます。右上の確認ボタンを押すと、ラウンドが終了して、ホーム画面に戻ります。



ラウンド終了画面

ラウンド終了後

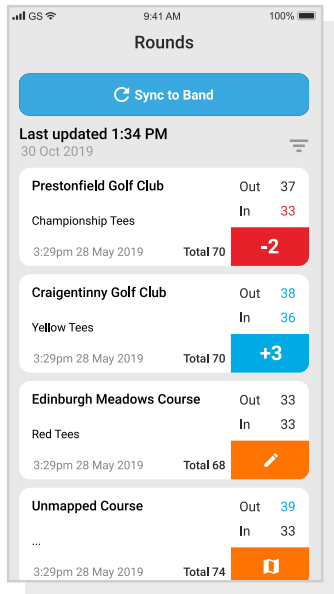
ステップ1: データのアップロード

ラウンドのデータをアップロードするには、まず携帯電話の設定でBluetoothがオンになっていることを確認してください。次に、アプリにログインして、画面上部の「接続」ボタンをタップします。

すると、同期待ちの画面に変わりますので、同期ボタンをタップしてラウンドの同期を開始します。同期中のバーが表示され、同期が完了すると、ラウンドのデータがお客様のアカウントにアップロードされます。

ステップ2: データの編集

編集は、ショットスコープのシステムの最も便利な機能の一つであり、すべてのユーザーのルーティーンの一部となっています。



データアップロード画面

編集/承認

お客様がアップロードしたすべてのラウンドは、統計に反映れる前に承認される必要があります。この作業により、すべてのデータが完全に正確なものとなります。

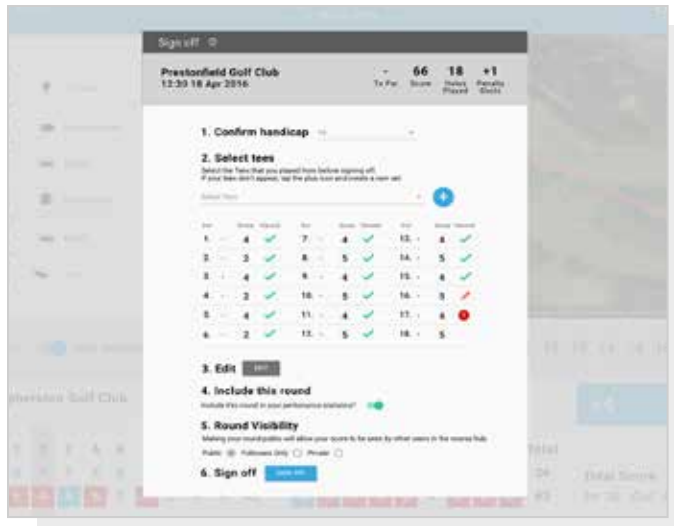


承認されていないラウンドには、オンラインダッシュボードとモバイルアプリの両方で、オレンジ色のスコアカードアイコンが表示されます。

ダッシュボードで「承認」の手続きをするには、承認したいラウンドのカードをクリックし、マップの下にある「編集/承認」を選択します。モバイルの場合は、ラウンドカードをタップし、ラウンド概要ページの鉛筆またはスコアカードのアイコンをタップしてください。

ラウンドのスコアカードが表示されます。
このスコアカードには、5つのステップがあります。

ステップ1: お客様のハンディキャップを選択してください。



承認や編集はダッシュボード上で簡単にできます

ステップ2: どのティーからプレーしたかを選択してください。プレーしたティーがない場合は、プラスのアイコンをクリックして新しいティーを作成してください。新しいティーを設定する際は、各ホールのパールが正しいことを確認してから進めてください。

ステップ3: ステップ3に到達すると、編集ボタンが有効になります。このボタンをクリックして、ラウンドの編集を開始してください。ラウンドの承認をするには、編集集中のホールを少なくとも1つ見る必要がありますが、データが正しいことを確認するために、すべてのホールを確認することをお勧めします。

ステップ4: ラウンドを編集したら、そのラウンドをパフォーマンス統計に含めるかどうかを決めなければなりません。デフォルトでは「含める」に設定されています。ラウンドを除外するには、ダッシュボードのスライダーを動かすか、モバイルではボックスのチェックを外してください。

ステップ5: 「承認」を押して、プロセスを完了します。

編集や承認についての詳細はこちらをご覧ください。

support.shotscope.com



編集画面

リーダーボードで 友達と競い合い、 メダルを獲得しよう

他のショットスコープユーザーと対戦してメダルを獲得し、リーダーボードの上位に入ることができます。アプリやオンラインのダッシュボードの「競争」タブからリーダーボードに登録できます。



James Thompson
Gosforth Golf Club
Handicap 5



Average Distance

Leaderboard		Position	
Global		150th	● ● ● ●
Handicap	+7-5	85th	● ● ● ●
Country	+	99th	● ● ● ●
MyGolfSpy		85th	● ● ● ●

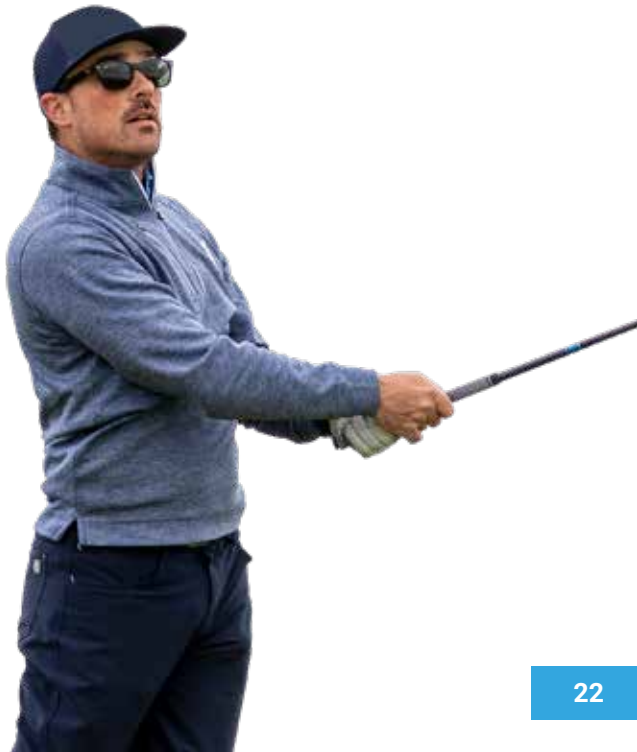
ショットスコープ V3を 最大限に活用するために

最適なデータを得るための練習用スウィング

データを最大限に収集するためには、ボールのそばでストロークの練習をすることが重要です。これにより、ショットを検出するアルゴリズムを洗練させることができます。システムが最大限のデータを収集できるよう、各ショットごとにボールの横で複数回の練習ストロークを行うことをお勧めします。V3でショットが検出されない場合は、練習ストロークを増やして再度プレーすることをお勧めします。

質問、使い方説明ビデオ、カスタマーサポートはこちらのWEBサイトへ

www.shotscope.com/getstarted



限定保証と安全情報

居住国の消費者保護法令の対象となる消費者には、この限定保証により消費者保法および規制によって付与されるすべての権利に加えて、本契約により発生する利益が付与されます。

FOR CONSUMERS PROTECTED BY CONSUMER PROTECTION LAWS OR REGULATIONS IN THEIR Shot Scope Technologies Ltd の製品は、通常の使用による、素材、部品、および製造上の欠陥がないことが保証されています。保証期間はShot Scope Technologies Ltd 日本正規販売店からの購入日から始まり、新製品の場合は12ヶ月間です。

保証期間内に素材、部品、または製造上の欠陥が発見された場合、お客様はShotScope Technologies Ltd 輸入代理元に書面で通知する必要があります。いかなる場合も、保証期間の満了14日目は、Shot Scope Technologies Ltdはそのような通知を受領しません。Shot Scope Technologies Ltdは、独自の手法で、通常の使用で故障した素材または部品を修理または交換します。このような修理や交換の際、部品や修理費はShot Scope Technologies Ltdが負担いたしますが、配送にかかる費用はお客様にご負担いただけます。すべての返品は、修理または交換の前に、評価のためにShot Scope Technologies Ltd日本輸入代理元に発送する必要があります。

Shot Scope Technologies Ltd は、独自の判断で、デバイスまたはソフトウェアを修理または交換する(新品もしくは総点検された代替品)、または購入価格の全額返金を提供する権利を保持します。このような救済措置は、保証違反に対する唯一かつ排他的な救済であるものとします。

返品フォームと詳細な手順については、support@eyeinthesky.jp までお問い合わせください。保証サービスを受けるためには、購入証明として、購入時の領収書のコピーが必要となります。送料と輸送費はすべてお客様の負担となります。送料の詳細については、Shot Scope Technologies Ltd 輸入代理元にお問い合わせください。

保証対象外および制限

この限定保証は、株式会社アイインザスカイまたは正規日本国内販売店から購入した製品にのみ適用されます。

この保証は以下の場合には適用されません。(i) 傷やへこみなどの外観上の破損 (ii) 電池などの消耗品、ただし素材、部品または製造上の欠陥により製品の破損が発生した場合は除く (iii) 事故、乱暴な扱い、水、洪水、火災、またはその他の自然または外的要因による破損 (iv) Shot Scope Technologies Ltd. の認定サービスプロバイダではない者が行ったサービスによる破損 (v) Shot Scope Technologies Ltdの書面による許可なしに修復または変更された製品の破損 (vi) Shot Scope Technologies Ltdが提供する充電および電源供給の指示に従って充電または電源供給されていない製品の破損 (vii) Shot Scope Technologies Ltdが購入金額を請求しないサンプル品、評価、テストまたはデモンストレーションの目的で、製品が提供または認可されている場合

準拠法で認められる最大限の範囲

工場出荷時にロードされたソフトウェアを含め、Shot Scope Technologies Ltdが提供するすべてのソフトウェアおよびサービスは、いかなる種類の保証もなく「現状のまま」提供されます。上記を制限することなく、Shot Scope Technologies Ltdは、製品、ソフトウェア、またはサービスの操作にエラーが生じないことを保証しません。Shot Scope Technologies Ltdは、製品ソフトウェアまたはサービスを組み合わせて使用するデバイス、システム、またはネットワークにエラーが生じないことを保証しません。

準拠法で禁止されていない範囲

商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性に関するすべての黙示的な保証および条件は、保証期間中に限定されます。その他のすべての明示的または黙示的な条件、申し立ておよび保証(非侵害の黙示的な保証を含むがこれに限定されない)は免費されます。

適用される法律で禁止されていない範囲において、いかなる場合もShot Scope Technologies Ltdは以下の責任を負いません。(i) デバイスの修理又は交換に伴うデータの紛失又は消去 (ii) 収益または利益の損失 (iii) 他社製品またはサービスを使用する能力の損失 (iv) または、責任の理論(過失を含む)に関係なく、特別、間接、結果的、偶発的、または懲罰的損害賠償。

Shot Scope Technologies Ltd.が損害賠償の可能性を示唆した場合、適用法で禁止されていない範囲で、いかなる場合もShot Scope Technologies Ltdの責任は、消費者が製品に対して支払った金額を超えないものとします。

Shot Scope Technologies Ltdによって書面で修正されない限り、この限定保証は、お客様とShot Scope Technologies Ltdの間の完全かつ排他的な合意であると理解されます。本契約締結以前の口頭または書面によって取り交わされた同意事項はすべて効力を失います。Shot Scope Technologies Ltdの従業員、輸入代理人、代理人または販売代理店は、この限定保証に口頭または書面による修正、延長または追加を行う権限がありません。

オンラインオークションによる購入

オンラインオークションで購入された商品は保証対象外となります。オンラインオークションでの領収書は、保証の確認には利用できません。保証サービスを受けるためには、販売店のレシート原本またはコピーが必要となります。

テクニカルサポート

この限定保証は、サービスやサポートの契約ではありません。テクニカルサポートに関する質問への回答は、https://eyeinthesky.co.jp/shotscope_faq/に掲載されています。

安全に関する情報と健康に関する警告

本製品を安全にお使いいただくために、以下の注意事項をお守りください。以下のような危険な状況避けることができない場合、重傷を負う可能性があります。

- 運動を始める前には、必ず医師に相談してください。ペースメーカーやその他の電子デバイスを装着している方は、Shot Scope Technologies Ltd.の電子デバイスを使用する前に、医師に相談してください。
- 充電中はデバイスのお手入れや着用をしないでください。お手入れの際は、必ずプラグを抜いてから行ってください。
- デバイスの充電中は、充電に使用している他の電子製品を、液体、水分、湿気、雨などにさらさないでください。充電中に水や湿気にさらされると、電子回路が損傷し、故障や爆発の原因になることがあります。
- ウォッチやストラップを引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。ウォッチのストラップが破損すると、内部の電子回路が損傷する恐れがあります。
- 取扱説明書に記載されている方法でのみご使用ください。

電池に関する警告

以下の注意事項を守らないと、内蔵されているリチウムイオン電池の寿命が短くなったり、デバイスの破損、火災、化学物質による火傷、電解液漏れ、けがの原因となることがあります。

- 車の中など、室内温度が45°C以上になる場所では、充電や使用をしないでください。破損防止のため、車から降ろしたり、ダッシュボードなどの直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 分解、改造、再製造、穴あけ、損壊などをしないでください。
- 端子を金属や他の物体に接触させて、バッテリーやデバイスをショートさせないでください。人身事故、爆発事故、火災事故の原因となります。
- 水、その他の液体、火、爆発、その他の危険にさらさないでください。
- 落としたり投げたりしてバッテリーに衝撃を与えないでください。
- このマニュアルの温度仕様で指定されている温度範囲外でデバイスを操作しないでください。
- 装置や電池に膨らみや変形などの異常が見られた場合、すぐに使用を中止し、Shot Scope Technologies Ltd.にご連絡ください。
- 電池は、幼児や小さな子供の手の届かないところに置いてください。

お手入れのガイドライン

- デバイスの寿命を縮める可能性があるため、極端な衝撃や過酷な扱いは避けてください。
- デバイスのお手入れには、水を含ませた濡った布またはペーパータオルのみを使用してください。また、化学物質を吹き付けしないでください。
- デバイスを極端に高温または低温にさらさないでください。
- 鋭利なものにデバイスを接触させないでください。破損や傷の原因となります。
- Shot Scopeにご自分で修理できる部品は含まれていませんので、修理、改造、分解は行わないでください。
- Shot Scopeの充電は、付属のUSBケーブルを使用して、USB対応のポートで行ってください。
- 万一、液体に浸かってしまった場合は、デバイスの電源を切り、表面の液体を拭き取ってからデバイスを24時間乾燥した場所に置いてください。ほとんどの場合、完全に乾燥すると、デバイスの電源が入り、正常に機能するようになります。これらの手順を踏んでも電源が入らない場合は、保証期間内であればカスタマーサポートにお問い合わせください。

GPSに関する注意事項

GPSなどの全地球測位衛星システム(GNSS)が使用する周波数に近い周波数の地上ブロードバンドネットワークを使用する機器の近くで本機を使用すると、性能が低下することがあります。このような機器を使用すると、GNSS信号の受信に支障をきたす可能性があります。

電波障害

本機は、内蔵アンテナを使用して低レベルの無線周波(RF)エネルギーを送受信し、データ通信を行うモバイル送受信機です。このデバイスは、最大出力モードで動作しているとき、およびShot Scope認定のアクセサリを使用しているときには、公表されている制限値以下のRFエネルギーを放出します。RF暴露コンプライアンス要件に準拠するために、本デバイスはユーザーガイドに記載されている通りに使用する必要があります。また、本機を他の構成で使用することはできません。そして、このデバイスは、他の送信機やアンテナと一緒に配置したり、操作したりしてはいけません。

本機は、メーカーが指定した用途のみ使用してください。

電源の仕様

充電: 5V USB

バッテリー

本機にはリチウムポリマー充電電池が内蔵されています。電池の交換は、Shot Scope Technologies Ltd.の認定を受けた者のみが行ってください。お客様は絶対に電池交換をしないでください。

温度仕様

使用時: 0°C to 50°C (32°F to 122°F)
充電時: 5°C to 40°C (41°F to 104°F)
保管時: -10°C to 45°C (14°F to 113°F)

製品の廃棄

Shot Scopeデバイス、バッテリー、パッケージは、地域の規則に従って廃棄してください。バッテリーを通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

連邦通信委員会(Federal Communications Commission, FCC)の声明

本機は無線周波数エネルギーを放射しており、適切に使用されない場合(すなわち、本マニュアルの指示に厳密に従わない場合)、無線通信およびテレビ受信に障害を引き起こす可能性があります。

操作には以下の2つの条件があります。(1) 本機は有害な受信妨害を起こしてはならない。(2) 本機は、本機の望ましくない動作の原因となる受信妨害を受け入れなければならない。

本機はテストの結果、FCC規則パート15に準拠したクラスBデジタル機器の制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅での設置において有害な干渉から合理的に保護するためのものです。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所で受信妨害が起こらないことを保証するものではありません。本機がラジオやテレビの受信に有害な受信妨害を引き起こす場合（これは本機の電源を切ったり入れたりすることで確認できます）、ユーザーは以下の1つまたは複数の方法で受信妨害を修正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きを変える、または再配置する。
 - 機器と受信機の距離を離す。
 - 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
 - 販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。
- コンプライアンスに責任を持つ当事者によって明示的に承認されていない変更や修正は、ユーザーがこの機器を操作する権限を無効にする可能性があります。FCC ID: 2ahwr-ss04

CE MARKING & EUROPEAN UNION COMPLIANCE



EUでの販売を目的とした製品には、適用される指令および欧州規格 (EN) に準拠していることを示す、以下の (CE) マークが表示されます。

適合宣言

Shot Scopeは、本装置が指令RED 2014/53/EUの必須要件および関連規定に準拠していることを宣言します。

適合宣言の詳細については WWW.SHOTSCOPE.COM/DOC をご確認ください。

株式会社アイインザスカイ

Shot Scope Technologies LTD 日本輸入代理元

〒662-0871 兵庫県西宮市愛宕山18-35

モード・周波数・パワー

モード	周波数	パワー
Bluetooth Low Energy	2.4 GHz	10mW
RFID	13.56 MHz	<1mW

ソフトウェア使用許諾契約書

本機を使用することにより、お客様は以下のソフトウェア使用許諾契約書の条項に拘束されることに同意するものとします。本契約書をよくお読みください。Shot Scope Technologies Ltd.は、本デバイスに組み込まれたソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本デバイスおよび製品の通常のご利用において、バイナリー実行可能な形式で使用する限定的なライセンスをお客様に付与します。本ソフトウェアのタイトル、所有権、および知的財産権はShot Scope Technologies Ltd.に帰属します。お客様は、本ソフトウェアがShot Scope Technologies Ltd.の所有物であり、国際的な著作権条約の下で保護されていることを認めます。さらにお客様は、ソースコードが提供されていないソフトウェアの構造、構成、コードが、Shot Scope Technologies Ltd.の貴重な企業秘密であることを認めます。お客様は、本ソフトウェアまたはその一部をデコンパイル、解体、修理、リバースアセンブル、逆行分析、または人間が読める形式に変更したり、本ソフトウェアに基づいて二次的著作物を作成したりしないことに同意するものとします。

最新のご利用条件、返品、プライバシーポリシーについては、www.shotscope.com/legal/ をご確認ください。

Shot Scope

より詳しい情報はこちら:
www.support@shotscope.com

SNSに参加して、ショットスコープの最新情報を入手してください。:

 Facebook: [shotscope](#)

 Twitter: [@shotscope](#)

 Instagram: [@shot_scope](#)

Version 4 - 301020